

# 文章題テスト・説明文(1)

日 月 名前

6  
問正解

★次の文章を読んで、問いに答えなさい。

約束の時間を守らないで、他人に迷惑をかけることは悪いことであることは、だれもがみとめる。それなのにどうして私たちはこんなに時間にだらしがいないのだろうか。その理由は、私たち日本人は、時間をムダにしたり、ムダにされたりすることによりあまり細かく気につけない性質であるからだと思われる。十人の会合に、十分おくれてやってきた人は、他の九人の人たちから十分ずつ、合計九十分の時間をうばい取ったわけだが、当人はそれほど重大なあやまりをおかしたと思わず、十分ぐらいの時間のムダは、ほとんど気につけない。これがいけないのだと思う。

□これがお金だったら、人々はこんなにのん気にしているわけにはいかないだろう。つまり多くの日本人にとって、時間は、それをすぐお金のねうちにかえて考えるほど、大切ではないのだろう。しかし、自分にとって大切ではないからといって、他人もそうであると考えことはあやまりであろう。だいたいに、時間を正確に守らないのは、いそがしすぎる人と、ひますすぎる人に多いようである。前者は他人は自分ほどいそがしくないだろうから、少こしぐらい待ってもらってもゆるされるだろうと考え、後者は他人にもひまな時間がどつさりあると考えているのである。どちらも自分中心の考え方であることはいうまでもない。

しかしこれからの若い人は、他人の時間を大切にすることを大いに学ぶひつようがある。そうでなければ、まんぞくした共同生活を送ることはできなくなるであろう。それは人々がますますいそがしくなり、それだけに自分の時間をいよいよ大切にするようになるからである。

(河盛好蔵「人とつき合う法」より)

1 線ア～エのうち、送りがながまちがっているものを選んで、記号に○をつけなさい。  
「少」の訓読みは「すこし」「すくなーい」の二通りある。

- ア 守らない      イ 取った      ウ 考える      **エ** 少こし

2 線1「当人」とはだれですか。ア～エから選んで、記号に○をつけなさい。

合計九十分の時間をうばい取った人、また、重大なあやまりをおかしたとも思っていない人はだれかと考える。

- ア 他人      イ 私たち日本人  
**ウ** 十分おくれてやってきた人      エ 他の九人の人たち

3  に当てはまる最もふさわしい言葉を、ア～エから選んで、記号に○をつけなさい。「もしくだったら」という言い方である。

- ア** もし      イ また      ウ おしろ      エ だから

4 線2「前者」、線3「後者」はどんな人を指していますか。文中からそれぞれ八字以内で書きぬきなさい。  
二つならべて書かれた事がらのうち、前のほうを「前者」、後のほうを「後者」で受ける。

《前者》

いそがしすぎる人

《後者》

ひますぎすぎる人

5 この文章の筆者の意見と合っているものを、ア～エから選んで、記号に○をつけなさい。  
ア 日本人は時間を大切だとは思っていない。  
 イ このようなことは書かれていない。  
 エ 自分の時間も他人の時間も大切であるというのが筆者の意見。

ア たいいていの日本人は、時間をお金と同じくらい大切だと思っている。

イ 時間を守らない人ほど、他人には時間を守ることを求めるものだ。

**ウ** これからは自分の時間と同じく、他人の時間も大切にしていくなさるべきだ。

エ まんぞくする共同生活のためには、何よりも自分の時間が大切である。